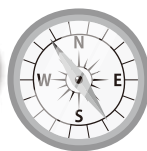


地質館だより



カブトガニの密かな進化

最近では N-Box やアルファードなど、車は何年かごとにモデルチェンジを繰り返しています。しかし、車の基本的なデザインやイメージは「キープコンセプト」として維持されることが多く、大きな変更は控えられています。そのため、車のオーナーでなければ、変更点に気がつかないほどの小さな違いにとどまることも少なくありません。

地質館では、開館当初からカブトガニの飼育・展示を行っています。さらに、ドイツ産の約1億5千万年前のカブトガニの化石も展示していますが、その姿は現代のカブトガニと驚くほど似ています。まさにカブトガニは、1億年以上にわたり「キープコンセプト」で生き続けてきた生物と言えるでしょう。

しかし、細かく観察すると、カブトガニも長い年月の中で少しずつ進化してきたことがわかります。同じように、地質館も外観こそ30年前からほとんど変わっていませんが、展示内容はカブトガニや車と同じように少しずつ進化しています。

今回の展示解説では、カブトガニの小さな進化について詳しくご紹介する予定です。この機会にぜひ地質館に足を運び、カブトガニと地質館の進化をじっくりとご覧ください。



地質館で展示している1.5億年前と現在のカブトガニ

3月の地質館イベント

3月23日(日) 12:00~&15:00~ (10分程度) 展示解説「生きている化石・カブトガニ」

桜座 Information 3月号

佐川町立 桜座

佐川町甲346番地1 ☎0889-22-7878 休館日:月曜



{ フェイスブック }



{ インスタグラム }



{ X }

SNSをやってま〜す。
フォローしてね。

〇〇。

桜座3月の主な予定

日	時間	行事名	内容
2日(日)	9:30~15:00	第25回佐川町健康福祉大会	南海トラフ巨大地震についての講演等
20日(木・祝)	開場13:30 開演14:00	桜座演劇講座生発表会 桜魔刻美野道行(ウマガトキヨノミチユキ)	桜座演劇講座の講座生による発表会 詳細はチラシをご覧ください。
23日(日)	開場10:30 開演11:30	片岡バラエティークラブ歌謡ショー	歌ありコントありの楽しいショーです

青山文庫だより

印章からわかる蔵書の由緒②寄贈者

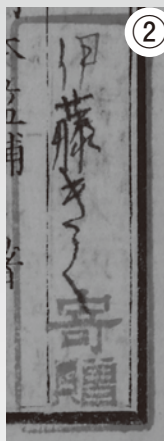
川田文庫の蔵書には様々な印章(ハンコ)が押されています。前々回から、それらの印章からわかることを個別に紹介してきました。

今回は、前回に引き続き蔵書の由緒について、特に寄贈者の情報からわかる寄贈者の想いについて考えてみたいと思います。ただし、印章から推測している内容ですので、私の仮説である点をご承知おください。



画像①の印章は「森本所蔵」と青インクで押されており、受入年月日がわかる印章と併せて確認すると、昭和初期から数年かけて青山文庫に寄附された書籍や雑誌に押されています。

実はこの印章、私には大変見慣れたもので、牧野富太郎について調べている際に富太郎の著作に多く押されていたため、富太郎や植物に関心があった人の寄贈本なのではないかと想像していました。しかし、改めて寄贈本のタイトルを確認すると、化学・健康・書道・和歌など植物以外の本も寄贈されていました。中には『家庭的でおいしいお



菓子^{こしら}の拵^{こしら}へ方』という本もありました。もしかしたら、青山文庫の利用者がどんな本を読みたいだろうか?と考へて寄附した書籍もあるのかもしれない。

画像②の印章は「伊藤きく寄贈」とあります(他に「伊藤キク」とカタカナ表記されている場合もあります)。彼女は、幕末維新期に佐川の人びとに大きな影響を与えた大学者・伊藤蘭林^{のりりん}(徳裕)の孫嫁にあたり、大正14(1929)年4月に800冊あまりの書籍を寄附しています。

この時点で亡くなっている夫に変わり、江戸時代に名教館^{めいこうかん}の学者をつとめた伊藤家に伝わる貴重書籍を、開館まじかの青山文庫に寄附したのでしよう。

寄贈書籍の中には、蘭林が写した写本や蘭林の著作も含まれていますので、蘭林がどのような書籍で学び、どのような成果をもたらしたか知ることができます。

蘭林は、佐川では大変著名な学者ですが、佐川の教育者として生涯をおくった人物なので、一般的には高い評

価を得られていない印象です。そのため、遺族による蔵書の寄附がなければ、名ばかり有名で実体がはばわらない偉人となった可能性もあります。先祖の功績を残そうとしたのか、知の遺産を継承させようとしたのか、寄贈者の確かな想いはわかりませんが、どちらにせよ伊藤家蔵書の寄贈は、佐川にとっては大変ありがたいことでした。

このような寄贈者の想いを想像してしまうほど、資料群「川田文庫」に押されている蔵書印は、我々に蔵書の由緒を語りかけてきます。川田文庫の出发点である川田豊太郎の想いも然りですが、学問や文化が成熟した土地柄であつたことが資料群「川田文庫」を創りあげた1つの要因だったのでしよう。

このような知の成果を、展示をとおしてぜひご覧ください。

(青山文庫 藤田有紀)

〈展示案内〉

○企画展「川田文庫の世界」

○企画展「復刻版 維新志士遺墨展覧会」

○小展示「植物学者・牧野富太郎」

開催中(令和7年6月16日(日))

※2月に展示資料を入れ替えています

広告

循環器内科・外科・整形外科

高血圧、不整脈などはもちろん、生活習慣病など幅広く診察します

田村カルディオクリニック(旧田村外科)いの町波川 R33 沿い



循環器専門医

☎088-893-5712 水曜午後外科休診 金曜午後循環器内科休診

田村親史郎 茅ヶ崎徳洲会病院 聖路加国際病院ハートセンター 高知大学医学部附属病院等で研鑽を積み実家医院に戻りました。病気を抱えながらも、安心して健やかな日々を過ごせるようお手伝い致します。